

「浦安市子育て支援総合計画」掲載事業 平成19年度進捗状況

平成20年度事業予定と今後の課題

1. 生き生きと子育てができるまち うらやす

地域での子育て支援サービスの充実

事業番号	1	事業名	保育園の整備	担当課	保育幼稚園課
計画内容	共働き、出産や病気、病人の介護などのため、家庭で保育ができない保護者に代わって、乳幼児を認可保育園で保育します。住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ、計画的整備を進めるとともに、多様な保育サービスを提供するなどの充実に取り組みます。				
	平成15年度実績	10園	平成21年度目標	16園	
平成19年度 実施状況と評価	未実施 今後、高洲保育園の増設整備や新町及び元町地域に新たな保育園の開設を計画している。				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	今後については、住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ計画的に保育所整備を進めていくことし、また、既存保育所の老朽化に伴う建替え・改修、多様な保育サービスの提供についても併せて検討する。				

事業番号	2	事業名	一時保育の拡充	担当課	保育幼稚園課
計画内容	保護者がパートなどで週1～3日の範囲で断続的に働く、あるいは保護者が病気やケガなどで入院・通院するなど、一時的に昼間子どもの面倒を見ることができない場合に、子どもを認可保育園で保育します。生後4か月～未就学児を対象としています。				
	平成15年度実績	2ヶ所	平成21年度目標	5ヶ所	
平成19年度 実施状況と評価	在宅子育て家庭の支援事業として一時保育を認可保育園5ヶ所で実施している。 現在一時保育を開設している園は、平成21年度目標値の5ヶ所に達しているが、今年度は明海つどいの広場で緊急・一時的に乳幼児を預けることができる「一時預かり」を実施した。 平成19年度末現在の利用状況（延人数） 東野保育園1,768人 高洲保育園2,031人 浦安駅前保育園1,805人 しおかぜ保育園1,459人 ポピンズナーサリー新浦安1,433人				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	必要なときに利用できる多様なサービスの整備及び子育て支援の充実等の施策の総合的な展開を図る観点から、今後も継続して実施する。 また、一時保育の希望者が多いことから、弁天保育園増設整備工事を実施し、21年度に一時保育室を開設する予定である。				

事業番号	3	事業名	乳幼児健康支援一時預かり(病後児保育)の拡充	担当課	保育幼稚園課								
計画内容	生後57日目から小学校3年生までを対象に、病気回復期のため、集団保育が困難な乳幼児の一時預かりを行います。												
平成19年度 実施状況と評価	<p>乳幼児健康支援一時預かり(病後児保育)事業の運営を、市内2ヶ所の保育施設(浦安中央病院・ポピンズナーサリー新浦安)で行っている。</p> <p>平成19年度末現在、同事業の利用者は、延べ342人で、施設別の利用者は、浦安中央病院 病後児保育室「ばんだルーム」で、延べ287人の利用者があり、ポピンズナーサリー新浦安 病後児保育室「アクアルーム」では、延べ55人の利用者があった。</p> <p>平成18年6月からポピンズナーサリー新浦安に乳幼児健康支援一時預かり(病後児保育)事業の運営を開始したことにより、同事業の運営施設が市内2ヶ所になり、より充実した事業運営ができた。</p> <p>項目名:利用者数(延べ)</p> <table border="0"> <tr> <td>平成15年度(実績値)</td> <td>473人</td> <td>平成19年度末</td> <td>342人</td> </tr> <tr> <td>平成21年度(目標値)</td> <td>充実</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					平成15年度(実績値)	473人	平成19年度末	342人	平成21年度(目標値)	充実		
平成15年度(実績値)	473人	平成19年度末	342人										
平成21年度(目標値)	充実												
平成20年度 事業予定と今後の課題	乳幼児健康支援一時預かり保育(病後児保育)施設が、2ヶ所あることにより、同保育を利用する利用者の利便性を含め選択の幅が広がり、また、預かる側の資質の向上も見込まれる。												

事業番号	4	事業名	エンゼルヘルプサービスの実施	担当課	こども家庭課 (こども家庭支援センター)
計画内容	保護者の出産や病気等であるにもかかわらず、まわりからの支援が見込めない未就学児を養育している家庭に対し、保護者に代わって家事や育児のお手伝いをするヘルパーを派遣します。				
平成19年度 実施状況と評価	<p>平成15年度実績 派遣 延べ937件 平成21年度目標 派遣 延べ 2,000件</p> <p>エンゼルヘルプサービスは病気や出産で周りからの支援が見込めない未就学児を養育している家庭に対し、保護者に代わって家事や育児の手伝いをしている。また、訪問コーディネーターとして配属された看護師による、利用者の健康不安への相談や指導などもきめ細かに実施している。</p> <p>事業についての利用者からの評価は非常に高い。時間帯、料金、ヘルパーの資質など信頼感が増しており総合的に評価されている。このことは他の制度を紹介してもなかなか移行できない弊害もあるが、若い世帯への子育て支援としてはたいへん有効であることが利用記録などから伺える。課題としては、産後の利用期間(2ヶ月程度)では自立が難しい母親も多くなってきていることや、外国人の世帯での生活習慣の違いや子育て考え方の違いなどもあり、柔軟な対応が求められている。子育てに対する不安から精神疾患を抱えてしまう母親も増えており、派遣されたヘルパーへは単純な家事援助だけでなく、疾病への理解や援助方法など検討し研修していくことも必要となってきている。</p>				
平成20年度 事業予定と今後の課題	相談機関との連携を強化し、子育て支援を充実させていくとともに、ヘルパーへの研修が課題である。				

事業番号	5	事業名	幼稚園預かり保育の実施	担当課	保育幼稚園課
計画内容	公立幼稚園において、保護者の就労や傷病などによる入院、病気などで家庭の保育が困難になった園児を、幼稚園の教育時間終了後も家庭的な雰囲気の中で預かる預かり保育を行います。				
	平成15年度実績	3園、各園の利用40人	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	市内3園（若草・舞浜・美浜北）で実施 実施日・時間：授業日の月～金曜日 午前8時～9時 午後2時00分～6時30分 長期休業日の月～金曜日 午前8時～午後6時30分 利用可能人数：各園とも50人 利用料金：月額5,000円または1日400円 別途おやつ・教材費100円 利用形態：通年利用、一時利用、1日利用 平成19年度利用状況 延べ人数 若草 通年利用者数 9,378人 1日利用者数 880人 舞浜 通年利用者数 5,581人 1日利用者数 1,757人 美浜北 通年利用者数 5,113人 1日利用者数 2,223人 3園合計 通年利用者数 20,072人 1日利用者数 4,860人 平成19年度から各実施園の定員を40人から50人に増加した。基本的には対象が実施園に在園する園児であることから、1園については、定員一杯であるが、2園については、利用者の伸びが少ない。 試験的に10月1日から11月30日まで、1日利用回数を現行1ヶ月4回を8回までとしたところ、多数の利用者があり、12月3日から3月29日（冬季休業期間・学年末期間を除く）まで現行4回を6回までとし試行期間を延長して実施した。 また、多くが就労を理由とした利用者となっている。				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	開始時間午前8時を午前7時30分にできないか実施園と共に検討し、可能な限り保護者の就労形態に合わせた時間帯で保育できるようにする。 今後は、実施園を増やす等の対応が必要となってくる。				

事業番号	6	事業名	総合施設(幼稚園・保育所一元化)創設の検討	担当課	保育幼稚園課
計画内容	市における子育て環境の実態と課題を見極めつつ、保育所と幼稚園の機能を併せ持つ「総合施設」の具体策づくりに向けた検討を行います。				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	検討	
平成19年度 実施状況と評価	認定こども園については、平成19年度までの幼稚園や保育園の配置や入園状況などを分析するとともに、今後の需要推計を見込み、幼稚園や保育園、認定こども園について検討を行った。 平成19年度までの幼稚園や保育園の入園状況などを基に分析を行っているが、保育園については、入園を希望する児童は増加していくものと見込まれ、今後も保育園の整備が必要である。 また、幼稚園でも園児数は、ここ数年増加傾向にあり、預かり保育や今年度から実施した3歳児保育も各園20名の定員を上回る申し込みがある。 各園40名で総定員120名に増やして行った平成20年度の新入園児の申し込みも定員を上回っている状況である。 このようなことから、幼稚園では空き教室の状況を踏まえ、まず3歳児保育の拡充を進めていく必要がある。				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	今後は、本市の幼稚園や保育園の状況や他市町村の動向も踏まえながら、さらに検討を進めていく必要がある。 特に、幼稚園については、19年度から実施している3歳児保育や平成20年度に高洲地区に私立幼稚園が開園するという状況の変化、さらには、保育園待機児対策の一つとして預かり保育事業の拡充といったことも、あわせて検討していく必要がある。				

事業番号	7	事業名	児童育成クラブの整備・充実	担当課	青少年課
計画内容	<p>昼間、保護者が留守になる家庭の小学校1～3年生（一部4年生）の児童と、療育手帳などの交付を受けている小学校4～6年生の児童を対象に、放課後や夏休みなどに保育を行います。運営については、運営委員会や法人などに委託し、児童の保護・健全育成活動を行っています。</p>				
	平成15年度実績	13クラブ、定員915人	平成21年度目標	21	
平成19年度 実施状況と評価	<p>平成19年4月に、入船南小学校の敷地内と南小学校地区に分室を新規に開設した。これにより、一小学校区に一クラブの児童育成クラブの設置となる。 また、防犯上の安全確保の観点から、電気錠式門扉への改修工事を行った。 課題については、国や県が示しているガイドラインを参考に、本市の実情に合わせたガイドラインの策定に向けて、市民代表などを含めた検討会を立ち上げ、児童育成クラブの方向性を示していく。</p> <p>設置児童育成クラブ数 17児童育成クラブ(21施設) (運営別 運営委員会10クラブ、本部運営委員会2クラブ、民間事業者5クラブ) 市内全クラブの定員 1,720名 入会人数 1,209名 *入会数については、地域により差が生じている。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	<p>児童育成クラブの本来の目的である放課後における安全で快適な生活の場を提供するための基本的な方向性及び、運営についての有り方などの方向性の検討を進める。 舞浜小学校地区児童育成クラブにおいては、入会児童数が増加している状況であることから、定員数を増加させるための施設建設に向けての設計業務を行っていく。 また、あわせて今年度新設される(仮称)東野小学校にも、同時に児童育成クラブを新設するための設計を行っていく。</p>				

事業番号	8	事業名	こども家庭支援センターの機能強化	担当課	こども家庭課 (こども家庭支援センター)
計画内容	<p>地域で安心して子育てができる環境づくり、また児童虐待の防止強化などを目的として、子どもと家庭に関するさまざまな問題に総合的に対応します。ひとり親家庭や婦人問題に関する相談、指導、支援事業も行います。</p>				
	平成15年度実績	1か所	平成21年度目標	1か所 機能の充実	
平成19年度 実施状況と評価	<p>児童虐待の相談や通告はこれまで児童相談所が受付をしていたが、平成17年度より児童相談に関する体制の充実を図るため、市町村にも相談の窓口が設置されたことから、対象児童を被虐待児童だけでなく非行や障害を持つ児童なども含めた「要保護児童」として取り扱い、平成18年11月に「浦安市要保護児童対策地域協議会」を設置し、保護を必要とする児童への対応に積極的に取り組んだ。また、これから就職や転職を目指す母子家庭に対しては、就労支援講座を開催した。 就労支援講座(全5回) 参加者 17名</p> <p>児童家庭相談については、平成18年に要保護児童対策地域協議会が設置され、また、相談員と職員が今年度増員されたことから、保護を必要とする児童に対して、関係機関との連絡調整や情報の共有が幅広く図られ、機能の強化に結びついた。 就労支援講座については参加者からの反響もよく、就労や転職に結びつく可能性が太である。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	<p>要保護児童に対するケース数の増加や多様化、また、複雑化することにより、対応処理件数が増えている。このため、ケースワークに時間を費やされるためケース管理が厳しい状況にある。また、国への報告等も煩雑化していることから、ケース管理の再整備が必要と思われる。また、就労支援講座については、参加者が実際に就労に結びついたかの追跡調査が必要であると考える。</p>				

事業番号	9	事業名	地域子育て支援センターの拡充	担当課	保育幼稚園課
計画内容	子どもの健全な育成と子育て支援を目的に、子どもと保護者が自由に遊び、交流することができる場の提供、子育てについての相談や情報、学習の機会の提供を行います				
	平成15年度実績	2カ所	利用者 21,607組	平成21年度目標	6カ所
平成19年度 実施状況と評価	<p>市内に6カ所（公営1ヶ所・民営5ヶ所）の地域子育て支援センターが設置されたことにより、子育てが家庭の交流の場、子育てに関する相談・情報提供の場として、充実した子育て支援ができた。</p> <p>平成19年度件数 32,660組 内訳 浦安市子育て支援センター（公営）20,504組 海園の街保育園地域子育て支援センター（民営）4,000組 浦安駅前保育園地域子育て支援センター（民営）2,368組 入船北保育園地域子育て支援センター（民営）2,612組 しおかぜ保育園地域子育て支援センター（民営）1,175組 ポピンズナーサリー新浦安地域子育て支援センター（民営）2,001組</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	市内に子育て支援センターが6カ所（公営1ヶ所・民営5カ所）あることにより、同施設を利用する利用者の利便性を含み選択の幅が拡がり、また、子育て支援センターを運営する側の資質の向上も見込まれる。				

事業番号	10	事業名	ファミリー・サポート・センターの充実	担当課	こども家庭課
計画内容	育児の支援を受けたい市民と育児の支援をする市民などからなる地域の相互援助組織であるファミリー・サポート・センターの充実を図り、市民参加に基づく子育て支援を推進します。				
	平成15年度実績	派遣	延べ 2,523件	平成21年度目標	充実
平成19年度 実施状況と評価	<p>運営については、浦安市社会福祉協議会へ委託している。</p> <p>19年度（平成20年3月末日現在）会員数 1419名 ・おねがい会員 1,087名 ・まかせて会員 137名 ・どっちも会員 195名</p> <p>主な活動内容 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり、学童保育の送り迎え及び帰宅後の預かり、保護者等の買い物等外出の場合の援助、保育所・幼稚園の送り迎え、保護者の短時間・臨時就労の場合の援助、保護者等の病気、その他急用の場合の援助など。</p> <p>昨年度1,229名に比べて、会員数が190名増加している。 （増加数：おねがい会員 142名、まかせて会員 31名、どっちも会員 17名） 制度の周知が進み、浸透している成果だと思われる。援助の担い手である「まかせて会員」については、おねがい会員に比べると伸び悩んでいるが、子育て・家族支援者養成講座修了生が多数登録あり。今後も、会員の確保に努めて行く。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	同様に実施していく。また、拡充として、新生児、宿泊、病後児預かりを行う「特別まかせて会員」を設定した。子育て・家族支援者養成講座2級認定者のみ登録できるもので、千葉県社会福祉協議会が実施している緊急サポートネットワークとほぼ同等の実施内容である。				

事業番号	11	事業名	保育園園庭開放の充実	担当課	保育幼稚園課
計画内容	地域に住んでいる在宅の子育て中の親子を対象に認可保育園を定期的に開放し、遊びへの参加（園庭遊び、季節の遊び、行事参加）を支援します。				
	平成15年度実績 7園、子ども参加者 985人 平成21年度目標 15園				
平成19年度 実施状況と評価	<p>公立保育所7園では、地域に住んでいる方を対象として園庭開放を実施し、地域の子育て家庭に対する支援を行っている。（月2回程度行っている。）</p> <p>また、園庭開放以外に園内ホールを開放しての紙芝居や人形劇も行う園もあり、その他、運動会等の行事にも参加を呼びかけている。</p> <p>なお、公設民営の保育所においても、一部園庭開放を実施している所もある。</p> <p>近年、本市は転入転出者が多く見られ、転入してきたばかりの方は同年齢の親や子との交流が難しく、この園庭開放を通じて知り合うことも多いことから参加者からは好評であると聞き及んでいる。</p>				
平成20年度 事業予定と今後の課題	在宅の乳幼児を含めた子育て支援の充実等の施策の総合的な展開を図る観点から継続して実施する。また、地域における保育需要に対応するため、公立に限らず公設民営や私立保育所でも実施することとする。				

事業番号	12	事業名	幼稚園子育てすこやか広場の実施	担当課	保育幼稚園課
計画内容	地域の親子の触れあい、語りあい、認めあいを促進し、同時に親同士の情報交換の場づくりに向けて、幼稚園の施設を開放します。				
	平成15年度実績 15園、開催202回、子ども参加8,179人 平成21年度目標 14園 開催450回 子ども参加14,000人				
平成19年度 実施状況と評価	<p>核家族化の中、子育てに不安や負担感を感じる保護者に、相談や情報提供の充実のための支援として、地域の幼稚園を解放し実施している。各幼稚園では遊びや交流を通し躰にかかわる生活指導を行ったり、親子のふれあい、親子同士の交流、幼稚園児との交流から保護者（主に母親）が子育ての楽しさを共有したりする場として年間計画を立て、内容の充実が図られている。</p> <p>また、保育カウンセラーの配置により、相談事業の充実が図られた。</p> <p>参加者が増えている状況から、子育て中の保護者からは大いに評価されている。</p> <p>特に転入者の多い地域の幼稚園はその結果が顕著である。</p> <p>課題は、参加者が多すぎ内容や安全面等で、改善しなければならない幼稚園がある。</p> <p>実施内容 開催園：市立幼稚園全園（14園）で実施 対象者：にこにこランド... 0歳～未就学児とその保護者対象 わくわくランド... 20年度幼稚園入園予定の3歳児とその保護者対象 実施時間：10:00～11:30実施 （その後幼稚園の許可を得て園庭開放12:00まで）</p> <p>平成19年度実績 延べ開催日数（5月開始3月中旬終了） にこにこランド169回・わくわくランド248回 延べ参加人数 にこにこランド6,436人・わくわくラ8,746人 保育カウンセラーの配置：各幼稚園（月1回） 延べ相談件数（5月から3月） 1,266件</p>				
平成20年度 事業予定と今後の課題	参加者のニーズに答えられるよう、実施日及び実施回数の検討、活動の充実、相談事業の拡充の3点を進めているところである。				
	と については、各幼稚園と実態に合わせ検討準備中である。特に3歳児保育実施3園が一学級ずつ増えることにより、わくわく広場の実施回数及び参加者数が減ることが見込まれるが、実施園以外は、例年以上の参加者が見込まれるため、内容の充実に努める必要がある。				
	については、平成18年度から「保育カウンセラー」を各幼稚園に月1回、各4時間配置したところ、利用者が多かったため、平成19年度には各6時間とし、相談事業の充実に努めた。しかし、相談数が多く対応しきれない大規模幼稚園等があるため、平成20年度は、必要に応じ配置日数を増やす予定である。				

事業番号	13	事業名	児童センター(児童館)の充実		担当課	こども家庭課 (児童センター)
計画内容	地域における子育て中の親の交流や相談、さらには子どもたちの交流等の場であり、親子対象、子ども対象などの各種の事業を展開しています。					
	平成15年度実績	延べ 15,499人	平成21年度目標	継続		
平成19年度 実施状況と評価	<p>1.乳幼児と保護者を対象にした子育て家庭の支援事業 「赤ちゃんサロン」や「フルーツポンチ」などを実施し、子育ての情報交換の場の提供と、ふれあい遊び等を通して、家庭と地域の子育て機能を高め、育児不安の軽減と健やかな育ちのための支援を実施した。 また、「電車あそびの日」など親子の集いの場の提供事業も実施した。 さらに、子育てサークルの育成を目的に「マシュマロクラブ」を実施し、親自身が自主的に子どもとの関わりが深められ、健やかな成長が図れるように、活動の企画運営をサポートした。また、これらの事業に加え小学校の長期休業期間中に介護の必要な小学生の受け入れを行う「障がい児と子育て家庭支援活動」を毎月土曜日と日曜日にも実施した。 19年度3月末実施事業数809回・参加者 30,256人 18年度3月末実施事業数358回・参加者 22,032人</p> <p>2.小学生以上を対象にした子どもの健全育成事業 料理教室、工作教室などの創作活動をはじめ、一輪車教室、スポーツクラブ、ドッジボール大会など体力増進活動や、あそび冒険隊、オセロ大会、こども祭りなど体験交流活動を継続実施した。 また、ボランティアの育成を目的とした「キッズスタッフ」の活動や地域ボランティアとの連携を図った夏祭りやクリスマス会を実施した。さらに、夜間事業として「あそびナイト」を実施するほか、朗読劇を主とした表現活動事業や「スペイン語であそぼう」など職員の創意工夫を凝らした事業を実施することができた。 19年度3月末実施事業数 743回・参加者 24,374人 18年度3月末実施事業数 605回・参加者 25,129人</p> <p>3.子ども会及び児童育成クラブ支援 施設や備品の貸し出しや遊びの指導を実施したほか、児童育成クラブを対象に移動児童館型事業として「いっぱいあそび隊」を実施した。 平成17年度中における児童センターの利用者数は51,466人で、開館以来はじめて50,000人を越えるという結果となったが、18年度上半期における利用者が31,306人という状況から前年度を上回る利用者が見込まれる。これは、積極的な事業展開が功を奏し、子育て支援事業及び子どもの健全育成事業が広く受け入れられたものと判断できる。</p> <p>児童センター事業実績（利用者数） 平成19年度末 65,060人</p>					
平成20年度 事業予定と 今後の課題	平成19年度実施事業を精査しながら、市民ニーズに応じた事業を展開していきたい。具体的な方策として、子育て家庭の支援事業では、母親の負担感の軽減と父親の子育ての促進を目的に、父親を対象にした「子育てサロン」の継続実施と、命の尊さが共感できる機会の提供を目的とした「小中学生と赤ちゃんのふれあい」事業の充実を図りたい。 また子育て相談・情報提供を具現化した積極的な取り組みとして、えくぼルームに職員（保育士）を常駐させた事業展開をしていきたい。子どもの健全育成事業では、遊びをとおした子どもの育成を促進できるよう「出前型児童館」の積極的な事業展開と、子どもの年齢や発達に応じた事業企画をしていきたい。あわせて、地域における子育て環境を醸成できるよう「児童センターまつり」等のイベント事業を通じて子どもたちや地域住民の社会参加を促進していきたい。					

事業番号	14	事業名	児童館の整備	担当課	こども家庭課
計画内容	児童の居場所づくりと子育て支援を目的に、児童が自由に遊べる環境を提供し、また、子育て中の親子の交流や子育て相談・情報の提供等を行う児童館の整備を検討します。				
	平成15年度実績	1か所		平成21年度目標	検討
平成19年度 実施状況と評価	平成18年度から実施の第3次実施計画のなかで、「子どもたちの活動拠点づくりに関する検討事業」について、児童館の設置や児童育成クラブ事業や異年齢交流事業のあり方について、総合的に検討していく予定について記載された。 また、(仮称)高洲複合施設に児童館を併設することに伴い、位置、広さ等まとめた。 高洲複合施設の整備に伴い、小型児童館の開設を開設する。広さは、約330㎡であるが、内容については、今後の実施設計等で確定する。				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	建設事業が、20.21年度の2か年かかる予定である。20年度については実施設計を行う。				

事業番号	15	事業名	保育園子ども相談の充実	担当課	保育幼稚園課
計画内容	身近な地域における相談の場づくりとして、認可保育園における子育ての悩みや心配ごと等の相談の充実を図ります。				
	平成15年度実績	2園		平成21年度目標	7園
平成19年度 実施状況と評価	育児の悩みや心配事について、子育ての専門知識を有する保育士により電話相談を公立保育所7園で実施している。 全園、専用電話を設置し主に園長が対応している。周知は毎月の広報うらやすやHPに掲載しているところであるが、現在のところ利用者は少ない状況となっている。				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	在宅の乳幼児を含めた子育て支援の充実等の施策の総合的な展開を図る観点から継続して実施する。				

事業番号	16	事業名	家庭児童相談、母子・婦人相談の充実	担当課	こども家庭課 (子ども家庭支援センター)
計画内容	各機関において悩みや心配ごと等の相談を実施します。相談者の生活等への解決に向け、必要な資源やサービスの紹介、フォローの実施などに積極的に取り組むとともに、機関相互の連携の充実にも取り組みます。				
	平成15年度実績	家庭児童相談延 1,824回 母子・婦人相談延 797回		平成21年度目標	充実
平成19年度 実施状況と評価	実施状況 家庭児童相談については、子どもの福祉に関する相談に対して助言指導、及びに児童虐待、家族関係、環境福祉などの問題を抱える家庭などに面接・指導・支援を行っている。 母子・婦人相談については、ひとり親家庭の一般の相談や、自立に必要な指導に当たるほかDVや、離婚など婦人に関する相談や母子・寡婦福祉資金貸付や母子生活支援施設入所の相談も行っている。 評価 児童家庭相談については、虐待などの相談については家庭支援センターに集約できるようになってきた。また、市町村に市民から直接児童虐待の通報が入ることも多くなり、ケースによっては通告を基に対象家庭に直接、訪問し状況を確認する事例も多くなっている。 また、ひとり親ホームヘルパー派遣事業がこども家庭支援センター所管となったことにより、相談業務として施策の紹介をするだけでなく、実際の利用の可否の判断をした上で勧めることが可能となった。 平成19年度相談件数実績 家庭児童相談延べ 8,258回 母子・婦人相談延べ 648回				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	ケース数の増加、ケースの多様化・複雑化により、対応処理件数が増えているため、ケースワークに時間を費やす現状があり、効率的なケース管理が課題である。また、家庭児童相談については、児童家庭相談の中心が市町村になったことにより、国への報告等は煩雑化している。				

事業番号	17	事業名	母子保健推進員活動	担当課	健康増進課
計画内容	母子保健推進員は、子育てしている家庭と行政のパイプ役となり、母子保健サービスの紹介や同じ地域に暮らす身近な存在として、子育ての相談に応じています。生後3~4か月頃に家庭訪問を行い、心配事の多い家庭については保健師に連絡し、継続的な支援につなげたり、ほのぼののタイムなど母子保健事業への協力なども行います。				
	平成15年度実績	家庭訪問 1,580件、ほのぼのタイム活動者 364人、推進員 34人	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	母子保健推進員は、母子保健サービスの紹介や同じ地域で過ごす身近な存在として子育ての相談を聞くことにより、子育てをしている家庭と行政のパイプ役として、子育てに関する不安の軽減に努める。委嘱期間は2年間。2~3か月児のいる家庭への訪問活動や母子保健事業への協力も行っている。定例会は月に1回(8月は除く)行っている。全戸に訪問することにより状況を把握できるとともに、様々な母子保健サービスの情報提供も行われ、事業への参加に結びついている。定例会では年度毎にテーマ・目標を決めて内容を検討していく。				
	平成19年度実績 家庭訪問1,527件、推進員33名、ほのぼのタイム等活動者315人				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	定例会では年度毎にテーマ・目標を決めて内容を検討していく。				

事業番号	18	事業名	インターネットによる育児に関する情報提供の充実	担当課	関係各課
計画内容	育児に関する必要な情報を入手できる方法を拡大するため、市のホームページなどを活用した育児に関する情報提供を行います。情報の更新、新規情報の追加など、情報提供の充実を図ります。				
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	充実	
平成19年度 実施状況と評価	育児中の保護者が、子育てに関する市のサービス等の情報を入手する手段として、インターネットは有用であるという考え方から、近隣市や都内自治体の子育てサイトについての情報収集を実施。現行の市のホームページの子育て情報では、コンテンツ配列などに限界があり、利用者が必要とする情報にアクセスしにくいと、広聴広報課・情報政策課などと調整、子育て支援単独のホームページを作成することも検討した結果、現在の市のホームページの内容を整理した。ホームページの整理はされたものの、やはりさらなる充実は必要と思われる。				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	市のホームページ担当などと連携を取りつつ、今後もわかりやすい情報提供に向けて取り組みを進めていきたい。				

さまざまな保育サービスの展開と充実

事業番号	19	事業名	延長保育の充実	担当課	保育幼稚園課
計画内容	延長保育が必要と認められる子どもに対し、早朝及び夕方の延長保育を認可保育園にて実施します。				
	平成15年度実績	9園	平成21年度目標	14園	
平成19年度 実施状況と評価	平成18年度より認可保育所15園において、平日7時から19時までの12時間保育を実施し、土曜は7時から16時までとした。公設民営の2園は、土曜の開所時間を19時まで延長した。また、私立保育所2園は、平日19時以降も有料にて実施している。就労形態の多様化等への対応から、平成18年度に開園した私立保育所1園は20時まで、私立保育園1園は22時まで、と延長保育を実施しており、従来からの私立保育所1園は、平成18年度から公立の開所時間に合わせて延長保育を行ったところである。				
平成20年度 事業予定と今後の課題	保護者の就労形態の多様化から延長保育を望む声も多く、今後も継続して実施する。				

事業番号	20	事業名	一時保育の拡充(再掲)	担当課	保育幼稚園課
計画内容	保護者がパートなどで週1～3日の範囲で断続的に働く、あるいは保護者が病気やケガなどで入院・通院するなど、一時的に昼間子どもの面倒を見ることができない場合に、子どもを認可保育園で保育します。生後4か月～未就学児を対象としています。				
	平成15年度実績	2ヶ所	平成21年度目標	5ヶ所	
平成19年度 実施状況と評価	在宅子育て家庭の支援事業として一時保育を認可保育園5ヶ所で実施している。現在一時保育を開設している園は、平成21年度目標値の5ヶ所に達しているが、今年度は明海つどいの広場で緊急・一時的に乳幼児を預けることができる「一時預かり」を実施した。				
平成20年度 事業予定と今後の課題	<p>平成19年度末現在の利用状況(延人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 東野保育園1,768人 高洲保育園2,031人 浦安駅前保育園1,805人 しおかぜ保育園1,459人 ポピンズナーサリー新浦安1,433人 <p>必要なときに利用できる多様なサービスの整備及び子育て支援の充実等の施策の総合的な展開を図る観点から、今後も継続して実施する。また、一時保育の希望者が多いことから、弁天保育園増設整備工事を実施し、21年度に一時保育室を開設する予定である。</p>				

事業番号	21	事業名	休日保育の実施	担当課	保育幼稚園課
計画内容	市民の保育ニーズに対応するため、認可保育園での休日・夜間保育の実施について検討します。				
	平成15年度実績	無	平成21年度目標	1園	
平成19年度 実施状況と評価	平成19年5月3日より「ポピンズナーサリー新浦安」において、休日保育を開始した。現在、休日保育の利用者が少ないため、今後は利用者の推移を見定めていく必要がある。				
平成20年度 事業予定と今後の課題	今後も継続するとともに、利用者の推移を見定めていく必要がある。				

事業番号	22	事業名	乳幼児を持つ母親等の学習権保障のための保育の実施	担当課	各公民館
計画内容	乳幼児を持つ母親等の学習権保障に向け、公民館が主催する事業等については保育サービスの提供を行います。				
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	公民館主催事業において、生後6カ月から未就学児までの保育サービスを、1件の講座につき、6～10人の受講生を対象として実施。女性を対象とした講座における保育サービス希望者は、受講者の半分近くに及ぶ。「保育付きなので参加ができた」「保育付きの講座に参加して自分の時間をもつことができた」という声も多く寄せられていることから、乳幼児を持つ母親層の受講が見込まれる講座には、原則として保育をつけるよう配慮している。				
平成20年度 事業予定と今後の課題	保育付きの事業を実施することにより、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会をもつことができるようになる。また、保育を受ける子どもたちにとっては、遊びを通して集団で過ごすことにより、自立・発達・成長する機会になる。これらのことから、主催事業の受講対象者や開催時間帯を考慮しながら、19年度以降も引き続き実施したい。				

事業番号	23	事業名	保育サービス評価事業の実施	担当課	社会福祉課
計画内容	事業所のサービス向上及び福祉サービス選択時に市民が事業所の情報が得られるようにサービス事業者による自己評価を実施します。また、利用者評価を実施し、事業所の更なるサービス向上を目指します。				
	平成15年度実績	児童育成クラブ14クラブ	平成21年度目標		
平成19年度 実施状況と評価	<p>【児童育成クラブ】 内容：事業者自己評価及び利用者調査の実施 対象：事業者自己評価：児童育成クラブ17クラブ 利用者調査：対象事業者を利用する全世帯（合計約1,256世帯） 実績：対象利用者数 1256世帯 回収数 454世帯 実施率 36.1% 平成19年度は、児童育成クラブにおいて福祉サービス評価を実施しました。</p> <p>項目名：福祉サービス評価又は第三者評価の実施事業所数 平成19年度末 児童育成クラブ17クラブ</p> <p>【保育園】 保育園の調査は平成19年度より保育幼稚園課が担当し、千葉県福祉サービス第三者評価を受審した。 実施内容等 内容：事業者訪問調査、事業者自己評価及び利用者調査の実施 対象：認可保育園14園 評価結果は、保育園や市ホームページで公表している。</p>				
平成20年度 事業予定と今後の課題	<p>【児童育成クラブ】 平成20年度の事業予定については、児童育成クラブの担当課である、青少年課に事業を移管する。</p> <p>【保育園】 サービスの質の向上及び利用者への情報提供を目的として、今後も定期的実施したい。</p>				

事業番号	24	事業名	こども家庭支援センターの機能強化	担当課	こども家庭課 (こども家庭支援センター)
計画内容	地域で安心して子育てができる環境づくり、また児童虐待の防止強化などを目的として、子どもと家庭に関するさまざまな問題に総合的に対応します。ひとり親家庭や婦人問題に関する相談、指導、支援事業も行います。				
	平成15年度実績	1か所	平成21年度目標	1か所	機能の充実
平成19年度 実施状況と評価	<p>児童虐待の相談や通告はこれまで児童相談所が受付をしていたが、平成17年度より児童相談に関する体制の充実を図るため、市町村にも相談の窓口が設置された。これによって、対象児童を被虐待児童だけでなく、非行や障害を持つ児童なども含めた「要保護児童」として取り扱い、平成18年11月に「浦安市要保護児童対策地域協議会」を設置し、保護を必要とする児童への対応に積極的に取り組んだ。また、これから就職や転職を目指す母子家庭を対象に就労支援講座を開催した。</p> <p>就労支援講座(全5回) 参加者 17名</p> <p>児童家庭相談については、平成18年に要保護児童対策地域協議会が設置され、また、相談員と職員が今年度増員されたことから、保護を必要とする児童に対して、関係機関との連絡調整や情報の共有が幅広く図られ、機能の強化に結びついた。</p> <p>就労支援講座については参加者からの反響もよく、就労や転職に結びつく可能性が大である。</p>				
平成20年度 事業予定と今後の課題	<p>要保護児童に対するケース数の増加や多様化、また、複雑化することにより、対応処理件数が増えている。このため、ケースワークに時間を費やされるためケース管理が厳しい状況にある。また、国への報告等も煩雑化していることから、ケース管理の再整備が必要と思われる。また、就労支援講座については、参加者が実際に就労に結びついたかの追跡調査が必要であると考え。</p>				

事業番号	25	事業名	地域子育て支援センターの拡充(再掲)	担当課	保育幼稚園課
計画内容	子どもの健全な育成と子育て支援を目的に、子どもと保護者が自由に遊び、交流することができる場の提供、子育てについての相談や情報、学習の機会の提供を行います				
	平成15年度実績	2か所	平成21年度目標	6か所	
平成19年度 実施状況と評価	<p>市内に6カ所(公営1ヶ所・民営5ヶ所)の地域子育て支援センターが設置されたことにより、子育て家庭の交流の場、子育てに関する相談・情報提供の場として、充実した子育て支援ができた。</p> <p>平成19年度件数 32,660組</p> <p>内訳 浦安市子育て支援センター(公営)20,504組 海園の街保育園地域子育て支援センター(民営)4,000組 浦安駅前保育園地域子育て支援センター(民営)2,368組 入船北保育園地域子育て支援センター(民営)2,612組 しおがぜ保育園地域子育て支援センター(民営)1,175組 ポピンズナーサリー新浦安地域子育て支援センター(民営)2,001組</p>				
平成20年度 事業予定と今後の課題	<p>市内に子育て支援センターが6カ所(直営1ヶ所・委託5カ所)あることにより、同施設を利用する利用者の利便性を含み選択の巾があり、また、子育て支援センターを運営する側の資質の向上も見込まれる。</p>				

事業番号	26	事業名	つどいの広場の拡充	担当課	保育幼稚園課
計画内容	主に0～3歳児とその保護者を対象に、利用者が相互に楽しく交流し、遊び、学び、ささえあう場所として、つどいの広場を開設しています。民間との協働による運営をもとに、地域に根ざした広場を目指します。				
	平成15年度実績	1か所、延べ840人	平成21年度目標	3か所	
平成19年度 実施状況と評価	<p>0～3歳児とその保護者を対象に、利用者が相互に楽しく交流し、遊び、学び、支えあう場として「堀江つどいの広場」を開設し、事業を展開しているが、19年度新たに明海地区に「明海つどいの広場」を開設した。</p> <p>開所日数及び利用人数は、次のとおりです。</p> <p>平成19年度実績</p> <p>堀江つどいの広場 開所日数：255日 延利用人数：8,970人</p> <p>明海つどいの広場 開所日数：189日 延利用人数：5,475人</p> <p>明海地区に「明海つどいの広場」を開設したことにより、本計画における平成19年度の目標整備量である2か所目の整備をすることができた。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	<p>「堀江つどいの広場」に加え、平成19年度新たに明海地区に開設した「明海つどいの広場」において「つどいの広場」事業の充実を図っていく。</p> <p>また、平成21年度目標値が3か所であることから、さらに、1か所開設するための場所等について検討を進めていく。</p>				

事業番号	27	事業名	児童館の整備(再掲)	担当課	こども家庭課
計画内容	児童の居場所づくりと子育て支援を目的に、児童が自由に遊べる環境を提供し、また、子育て中の親子の交流や子育て相談・情報の提供等を行う児童館の整備を検討します。				
	平成15年度実績	1か所	平成21年度目標	検討	
平成19年度 実施状況と評価	<p>平成18年度から実施の第3次実施計画のなかで、「子どもたちの活動拠点づくりに関する検討事業」について、児童館の設置や児童育成クラブ事業や異年齢交流事業のあり方を、総合的に検討していく方針について記載された。また、新町地区の新設の公民館内に小型児童館を整備することについて、生涯学習課と調整をしている。あわせて児童館整備に関わる市の今後の基本的な考え方をまとめた。</p> <p>【基本的な考え方】 放課後の子どもの居場所として、小学校を単位として位置づけ、小学校を拠点とした児童館事業を展開。乳幼児をもつ親子の交流の場として、地域子育て支援センターを整備。それらを縫合・統合する機能として、また小学校や地域子育て支援センターでは開催が難しい事業を行う機能として、元町・中町・新町それぞれに、他の施設と複合で児童館を整備することとする。</p> <p>また、巡回児童館などにより地域における子どもの居場所づくりを検討するため、全庁に子どもを対象にした講座やイベントの実施状況を調査し、状況の把握を行った。(6月実施)</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	組織改正により、児童センターも子育て家庭課所管となることが予定されていることから、いま以上に児童館整備に向けた検討が進められると思われる。				

事業番号	28	事業名	世代間交流事業の実施	担当課	保育幼稚園課
計画内容	健全な社会環境の整備に向け、子どもたちが地域社会での様々な活動や体験を学べるよう、年齢や世代を超えた交流事業の実施・活性化の検討に取り組みます。				
	平成15年度実績		認可保育園 3園	平成21年度目標 7園	
平成19年度 実施状況と評価	公立保育所において、市内小中学校及び高校の社会体験活動の場として提供している。年2回程度実施している。 地域交流事業の一環として、中高校生等が乳幼児と触れ合い、子どもを育てることの大変さや喜び等をより理解を深めることができた。				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	地域交流事業の一環として、中高校生等が乳幼児と触れ合い、子どもを育てることの大変さや喜び等をより理解を深めることができた。				

事業番号	29	事業名	子育てサロン活動の実施	担当課	社会福祉協議会
計画内容	支部社協の活動の一環として、推進しているサロン活動の中で高齢者とともに子育て中の親同士の情報交換、友だちづくりを進める住民主体の活動の場として、子育てサロンの活動を支援します。				
	平成15年度実績		0箇所	平成21年度目標 継続	
平成19年度 実施状況と評価	支部社協活動において、子育て中の親同士の情報交換・交流を目的として、地域のニーズにあわせ小地域単位で幅広く展開している。 平成19年度実績 12箇所 実施支部：7支部（全10支部） 地域：12箇所 （当代島、猫実、北栄、海楽、今川、富岡、入船2箇所、日の出2箇所、明海、富士見・舞浜） 回数：各地区トータル延べ32回 昨年比で実施地域が2箇所（富士見・舞浜、日の出）増え、回数も11回増えている。 気軽にはじめての子どもでも参加できる雰囲気を大事にして活動している。				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	回数もニーズに応じて増える可能性がある。デイリーな開催はできないが、幅広い地域での展開を進め、市内における子育て支援のひとつとして実施していきたい。				